

情報 小学校



小学校教師

校内研修等

わくわく授業—わたしの教え方— 30分

ホントの人口は何人なの!? ～塩谷京子先生の情報教育～

(2007年放送)

この番組の良さ



静岡市立森下小学校

情報の海にこぎ出す子どもたちに

元静岡市立森下小学校の司書教諭・塩谷京子先生は、「情報教育はコンピューターと思われがちですが、ネット社会だからこそ本による調べ学習が大切」と言います。番組は、静岡県の本当の人口を様々な本を使って調べる経験から、1つの数字を鵜呑みにせず、複数の資料を探すことの大切さを学んで行く授業を紹介します。

調べる方法そのものを教える授業

小学校で盛んに行われる調べ学習。塩谷先生は、司書教諭として、調べ方やまとめ方を教えるカリキュラムを作り、発達段階に応じて習得させ、探求型学習で活用することを研究しています。

本番組は、調べる方法そのものを教える授業の一例です。情報を使いこなしていく入り口に立つ子どもたちに何が大切で、どのような指導をしていけばよいかが見えてきます。

番組活用のポイント

「ICT（情報通信技術）を使わない情報教育」の校内研修に

情報教育のイメージとして、コンピューターや視聴覚機器が思い浮かぶかもしれませんが、しかしながら、情報教育の本質は、コンピューターのリテラシー向上を目指したものでなければ、視聴覚機器を多用した授業を行うことでもありません。

情報の読み取り方やまとめ方の基本を教えることは、子どもたちが、自らの力で調べ学習を進めていく力につながります。校内研修などの機会に、本番組を視聴し、実際に先生たちが百科事典やデータ集などの「本」を使って調べ学習を行ってみることで、子どもたちの自ら学ぶ力を育てるために必要なことは何かを具体的に考えることができるでしょう。

情報教育と図書館教育連携を

塩谷先生は、著書の中で、学校現場では情報教育と図書館教育の双方から似たような指導が重複して行われていることが多く、その連携の必要性を指摘しています。校内研修の場で本番組を視聴し、情報教育と図書館教育の連携について議論することで、総合的な学習をはじめとする探求型の授業において、発達段階に応じた体系的なスキルを身につけていくことの大切さが見えてくるでしょう。

研修した後に授業で活用してみることも

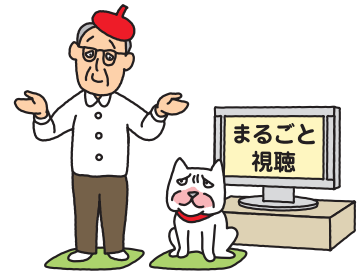
本番組を利用した校内研修を行うことにより、情報活用能力や情報リテラシーについての共通理解が図られ、調べ学習の指導に生かされることでしょう。校内研修で教師自らが学んだ後に、本番組を調べ学習の教材として子どもたちに部分視聴させることも考えられます。

(加納 真)

学習展開例

研修時間 70分

情報とは何か？ 調べる力を育てるポイントを学ぶ



| 時間配分 | 校内研修の流れ | 留意点等 |
|------|---|---|
| 10分 | <p>① 調べ学習の実態や課題について話し合う。 例) ・テーマづくりや調べ方、まとめ方がわからない子が多い。 ・インターネットで検索して印刷するだけで満足している子が多い。 ・情報の真偽を確かめないまま利用しがちである。 ・課題にあったレポートがなかなか書けない。 など</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○グループは、複数の学年の先生で構成されるように工夫するとよい。 ○各グループで出た課題を発表し合い、問題点を浮き彫りにしていく。 ○情報活用の実践力(課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達する能力)を中心に話し合いを進めていくと、番組視聴やその後の議論につながる。 |
| 30分 | <p>② 番組を視聴する。</p>  <p>視聴 TV ・百科事典で「人口」について調べる子どもたち。(開始～)</p>  <p>・静岡県の人口を調べる中で、情報について考え始める子どもたち。</p>  <p>・ネット時代だからこそ、本による調べ学習が必要。</p>  <p>・一つの数字を鵜呑みにせず、様々な資料を探ることが大切。(～終わり)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じてメモをとりながら視聴する。 ○子どもたちの立場に立ち、どのように調べたらよいか考えていく。 ○情報とは何か、子どもたちにどのように調べ方を教えていくか考えていく。 ○本を手にとることの大切さとは何か、ネットと本との違いは何か考えられるようにし、情報教育と図書館教育との連携を意識しながら視聴する。 ○子どもたちが、主体的に調べ学習を進め、話し合う中で、1つの数字を鵜呑みにせず、様々な資料を探ることが大切であることに気づく過程を感じ取り、この授業実践の価値を見出せるようにする。 |
| 30分 | <p>③ 番組で行われていた調べ学習を実際に行い、情報教育の中での位置づけを議論する。</p> <p>④ 研修をふり返りまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○番組視聴後に、学校図書館で実技研修を行う。 ○実際に番組で出てきたように、自分たちの都道府県の人口を調べる活動を行う。 ○百科事典や年鑑などのデータ集、複数の情報源から情報を選び出し、並べて考える活動を実際に行ってみる。その活動を通して1つの資料だけを鵜呑みにせず、様々な資料を探ることの大切さを体感し、子どもたちの自ら学ぶ力を育てるために必要なことは何かを具体的に考え、議論する。 ○情報教育と図書館教育との連携という視点で議論し、発達段階に応じた系統的なスキルを身につけると共に、学校図書館の利活用の大切さについて考える。 |